

繋離船作業の実態について

1. 繋離船作業の現状

- ① 大型クルーズ船の入港が新型コロナウイルスの影響で2月以降無くなり、外航船（貨物船、コンテナ船等）も全国的に減少した。
- ② 作業に於いては、係留索破断の発生は変わっておらず、ファーストラインの1本取りも徹底されていない。

2. 協会の活動

- ① 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防について
 - ・日本繋離船協会作成のガイドラインに基づき、感染予防対策を徹底している。（資料1）
（日本繋離船協会 HP の事務局よりのページからダウンロード可）
- ② 作業船舶（繋船ボート）と船舶（外航船・内航船）と作業中に無線の送受信が出来ないので、発声（笛）及びジェスチャー表を作成している。（資料2）
 - ・全国共通にするのが望ましいので、日本繋離船協会ワーキンググループ会議の中で作成中。

3. 繋離船業者から見た係留設備について

- ① 車止め性能規定について（資料3）
 - ・国土技術政策総合研究所資料（2017年 NO.957）の中で車止め、電源ボックスの改善が記載されており、ロープスライド型の形状にすると安全作業に繋がる。
 - ・劣化による電源ボックス等の交換時も改善されていない事例がある。
 - ・車止めの隙間や電源ボックスを係留索から接触（破損）事故を防ぐための作業に危険性が生じる場合がある。
 - ・各港の事情により、求められる車止めの形状が異なる。
例えば、積雪の多い地域の場合は、車止めの隙間から除雪できたりするので、隙間が必要な岸壁もある。
 - ・各港の事情により、係留設備は適材適所に対応して頂くと安全作業に繋がる。
- ② 防舷材の突起物について（資料4）
 - ・国土技術政策総合研究所資料（2017年 NO.957）の中で防舷材に関する配慮事項で、受衝板の上部及び側面への係留索の引っ掛かり防止の件を進めて頂く事によって、危険事案が減少する。

- ・ 現在、突起物がある防舷材に於いて可能であれば港湾管理者の了解に基づき排除が望ましい。(突起物を切断)
 - ・ 突起物による係留索の引っ掛かりにより、係留索破断事故や作業員の危険作業が起こる可能性がある。
- ③ 港湾設備等の修復依頼をしても、港湾管理者の事情（経費等）により、対応に時間がかかる。
- ④ 係留施設の附帯設備等の新設や改築時には、安全作業を徹底する為に、各港の繋離船事業者にご相談して頂くことが安全作業の為に望ましい。

繋離船事業に特化した 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防の実施

1. はじめに

【感染拡大予防の必要性】

繋離船事業者は、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」において、社会の安定の維持の観点から、緊急事態措置の期間中にも、企業の活動を維持するために不可欠なサービスを提供する関係事業者（物流・運送サービス（海運・港湾管理））として位置付けられており、その事業の継続が要請されている。

繋離船業は、外国船舶と最初に接触のある業種である。外国船員との接点、船体やロープとの接触があり、しかも生身の人間がチームとして作業を行うなどの特殊性がある。港湾の機能に不可欠な離着岸を担う重要性から、事業継続のためには特に徹底した対策が求められる。

2. 感染防止のための基本的な考え方

（1）基本的な考え方

船舶代理店、水先人、本船船員、係船ボート等の関係者で相互に積極的に協力し、書類等の受け渡しは人と人との接触は出来るだけ避けて、メール、郵便等で対応し、最大限の対策を講じている。

（2）リスク評価とリスクに応じた対応

接触感染のリスク評価としては、他の事業者と共用する施設や作業に使用する機器、作業を行う船舶・車両・無線機などを含め、他者と共有する物品やドアノブなど手が触れる場所と頻度を特定し、頻繁に消毒をしている。

3. 講じるべき具体的な対策

(1) 通勤・外勤

- ・ アルバイトを含めた不規則な人員の手配等のために独立したローテーションを組むことが困難な場合には、現場及び待機において、特に徹底した感染防止に取り組んでいる。

(2) 勤務

- ・ 現場での点呼、作業打合せ、作業時においてはマスク、手袋の着用を徹底している。
- ・ 現場においても対人距離の確保に努めている。
- ・ バウチャーにサインをもらう等のために乗船する際には、本船船員との接触もあり、特に感染に注意を払う必要があるためアルコール消毒を行う。
- ・ 無線機器等を使用した際には、マイク等、その都度消毒を行っている。
- ・ 車両乗車時にはドアノブ、シート、ハンドル等を消毒し、ソーシャルディスタンスを保ち会話は最小限にしている。
- ・ 車両、船舶の移動時には窓を開けて換気を行っている。
- ・ 作業道具を使用後は洗浄消毒を行っている。
- ・ ゴミが発生した際には袋に入れて密封している。
- ・ 作業終了後、衣服、靴底、手の消毒を行っている。
- ・ 3密を避けるため集団での待機にはソーシャルディスタンスをとり換気を徹底している。
- ・ 作業員の待機所が3密になる場合は作業車、自家用車に分かれて待機している。

4. おわりに

繋離船作業は、複数の人員で共同して作業を行うことから、各個人の意識が特に大切である。感染者が発生すると、繋離船作業の実行に支障が生じ、事業の継続が難しくなるとともに、船舶の離着岸という港湾の機能が損なわれることとなる。

我が国の物流を支えるのは自分たちであることを自覚して、感染防止対策を徹底している。

MESSAGE & GESTURE TABLE by LINE-BOAT [KANMON PORT (TACHINOURA, TANOURA, MOJI, SHIMONOSEKI etc)]

案

資料②


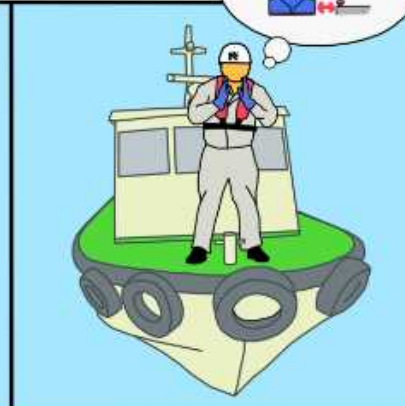
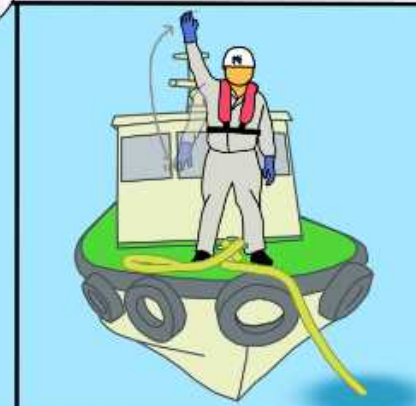

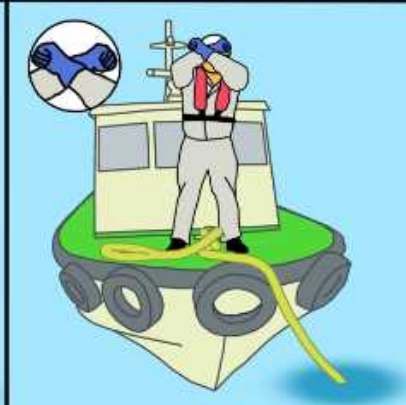
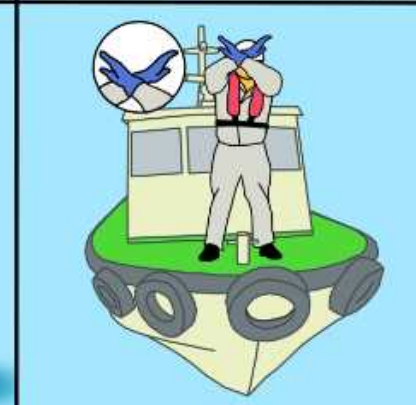
- DO NOT USE PROPELLERS IN AREA NEXT TO PIER.
LINE-BOAT, WHICH IS HAULING SHIP'S LINE(S) TO QUAY, IS FORCED TO BACK IN SHIP'S STERN OWING TO LINE(S) GOT CAUGHT IN MOVED SCREW OR SCREW SHAFT.

(綱取りボート 発声 及び ジェスチャー表)

- DO NOT TAKE OUT LONG LINE(S). LINE-BOAT'S SCREW OR SCREW SHAFT ROLL IN LINE(S).
係留索を大量に出さないでください。ラインボートのプロペラに巻き込まれる可能性があります。

BLOW THE WHISTLE
LOOK HERE !!



				
OBJECT 目標物 / 目标物 / 목표물	WAIT 待て / 等一下 / 대기	FAR 遠すぎる / 太远了 / 너무 멀리	NEAR 近すぎる / 太近了 / 너무 가까이	SLACK ローフ降ろして / 把绳子拿出来 / 로프를 내고
				
SLOW ゆっくり / 慢慢地 / 천천히	HEAVING 巻いて / 把绳子卷起来 / 밧줄을 감아	STOP 止めて / 停 / 정지	LET GO !! ローフを放す / 放绳子 / 밧줄을 떨어 뜨려	CANCELING WORK 作業出来ない / 取消工作 / 작업 할 수 없는

ロープスライド型車止め

資料③



①車止めに隙間無くフラット



②雨水を逃がす為のトンネル



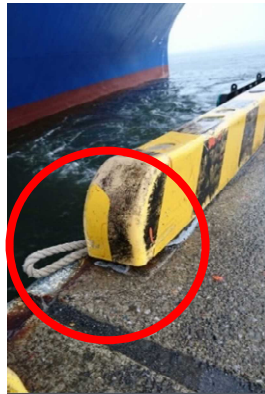
③ビット前にも車止めを装着

- | |
|---|
| ①フラットにする事により、係留索の滑りが良くなり作業効率が上がる。 |
| ②雨水を逃がす事により、経年劣化を防ぐ事に繋がる。 |
| ③ビット前に装着する事により、岸壁より舷の低い船舶が着岸しても係留索が引っ掛からない。 |

従来の車止め



①隙間のある通常的車止め



②ロープの挟まり



③岸壁照明の破損



④新設岸壁照明の車止めとの隙間

- | |
|---|
| ①現在の基本的な車止め |
| ②劣化で浮き上がり、作業中に本船の先ロープが挟み込まれる。 |
| ③作業中に係留索が接触して破損した。
(本船船員が目視確認していなかつ) |
| ④岸壁照明にカバーが無く、係留索が引っ掛かる可能性が高い。 |

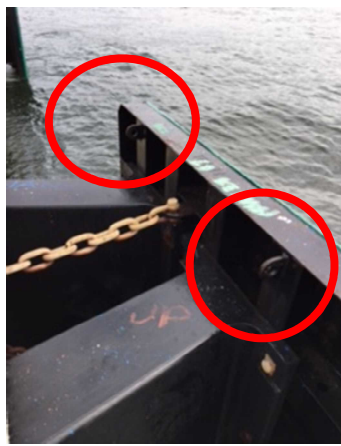
突起物が無い防舷材

資料④



- ・防舷材を装着時に吊るす作業に必要な加工が防舷材の中側に作られており、繋離船作業の妨げになりにくい。

突起物がある防舷材



- ・防舷材を装着時に吊るす作業に必要な加工が外部に装着されており、接岸、離岸時の作業で係留索が引っ掛かる場合があり、係留索の破断事故や作業トラブルの原因になる可能性が高い。